

2014年  
12月中国四国農政局  
高松地域センター

# News Letter

金時にんじん

## 地域資源を活かしたバイオマスエネルギー うどんまるごと循環プロジェクト～うどん発電～

香川県は、年間5万トンあまりのうどんが作られる日本一のうどん県ですが、一方では、食品ロスとして捨てられるうどんも多いことをご存じでしょうか？この捨てられるうどんを使って電気や液肥を作ろうというのが、「うどんまるごと循環プロジェクト」で「うどんまるごと循環コンソーシアム」の一員である、高松市の(株)ちよだ製作所(社長:池津英二氏)で取り組まれています。



タンク内のガス生成量や発電状況など池津社長が説明

取り組みのきっかけは、4年前に製麺業者から「工場のラインから落ちたうどんや時間経過したうどんが捨てられるのはもったいない。有効活用できないか？」と相談されたのが始まりでした。

試行錯誤の結果、酵母等を使ってうどんからエタノールを取り出すことに成功しました。

しかし、エタノールは需要先が少なく、プラントを作ってもコスト面から採算が合わないこともあり、2013年7月に従来のコンセプトはそのままに、発電機の側でメタンガスを生成し、そのまま燃料として使用する試験を開始しました。

使う発電機は、食品残さなどから生成される純度の低いガスでも1日600kwh、年間18万kwhの発電能力を持っており、現在、実証試験では1日当たりうどん等の生ゴミ1トンを処理し、約8～9時間の稼働で200kwhを発電しています。さらに、発酵後の残りカス(消化液)を使って、うどん用小麦等に使える液肥を作ります。

現在、農家等の協力を得て栽培試験を行い、肥料として登録申請中で、固形肥料(ペレット)への試験研究もされているところです。



試作中の固形肥料

捨てられるうどん発電を生み、小麦等を育てる肥料を作ることで、CO<sub>2</sub>の削減や資源エネルギーを有効に活用しようという、うどん県ならではの取組です。池津社長は「資源活用と併せ、小規模発電を地域で分散して行うことで、災害時等のライフライン確保のリスク減らすことができます。技術は確立されているので、全国各地で取り組んでいただける仲間を募集中です！」と呼び掛けています。

直径8mの生ゴミ処理タンク  
県外からの視察も多いそうです

### 株式会社ちよだ製作所

香川県高松市香南町西庄941-5

電話 (087)879-7911

<http://www.chiyoda-mfg.jp/env/index.html#ethanol>

# 「一日農政局inさぬき市」を開催



地元で活躍する組織等の代表者が出席しました

中国四国農政局は11月27日、香川県さぬき市において、「地域資源の保安全管理と地域農業の新たな展開について」をテーマに「一日農政局inさぬき市」を開催しました。

当日は、地元で多面的機能支払活動に取り組む活動組織や保全組合、農村レストランの代表者、学校給食担当者など16名が出席しました。

始めに、農政局から「農林水産業・地域の活力創造プラン」、「多面的機能支払の推進」について説明があり、続いて、出席者から地域で取り組

んでいる農地の保全や取水施設の点検・補修についての報告がありました。

意見交換では、出席者から「子供たちがコスモス祭りなどの環境保全活動に参加することで地域が盛り上がっていく」、「地産地消は、自分で汗をかいて育てるという体験をすることが大事」など、活発な意見が出されました。

## 平成26年産水稻の収穫量(香川県)を12月5日に公表しました 10a当たり収量は468kg(作況指数94)

### 【調査結果の概要】

1 香川県の平成26年産水稻の作柄は、8月の日照時間が平年を大きく下回ったことから、全もみ数がやや少なくなり、早期作の登熟が抑制されました。その後、9月中旬から気温日較差や日照時間が平年を上回ったものの、全体として登熟が平年並みにとどまったことから、10a当たり収量は468kg(作況指数94)で、収穫量(子実用)は6万7,400t(前年産対比91%)となりました。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量(主食用)は、6万6,500t(同91%)となりました。

2 水稻の被害面積(総数)は5万5,000ha、被害量は1万1,600tとなりました。

### 今月の消費者コーナーは、「鳥インフルエンザ等の現状とその対策について」です！

鳥インフルエンザは、近年世界規模で発生し、その拡散の防止が喫緊の課題となっているところです。特に、冬季は、渡り鳥の飛来により鳥インフルエンザの発生が多い時期となっています。このため、鳥インフルエンザのまん延防止及び農産物の安全対策の取り組みを当センター1階ロビーにてパネルなどで紹介しています。

### ～お知らせ～ 農林水産統計調査員を募集しています！

農林水産省では、各種の農林水産統計調査に携わっていただく「統計調査員」を当ホームページで募集しています。 <http://www.maff.go.jp/chushi/org/chosa/index.html>



平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査(平成26年12月中旬～平成27年2月末)

○農山村地域調査(平成27年4～6月末)

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサス

食べて  
応援しよう！

被災地を応援

編集:中国四国農政局 高松地域センター

〒760-0018 高松市天神前 3-5

TEL(087)831-8153(内線326) FAX(087)831-8156 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>